

事業所名

児童発達支援事業所あおば

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

8日

法人（事業所）理念		『共に生きる力を育む』			
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 1. 生き生きと自己を表現できる、気持ちの交流ができる豊かな心の育ちを支えます。 2. 子どもの気持ちを受け止めることにより信頼関係を深め、安心感を育むとともに意欲につなげていく。 3. 一人ひとりの発達に合わせて、基本的な生活習慣・対人関係・言語やコミュニケーションなどの力の向上を促す。 4. 子育てについての相談や面談を通して、お子さんへの理解を深め、育ちと暮らしを支えていく。 5. 保育園・幼稚園・学校・保健所・医療機関・相談支援事業所などと連携をとりながら地域での育ちを支えていく。 			
営業時間	8時 30分から 17時 30分まで	送迎実施の有無	あり なし		
サービス提供時間	9時 30分から 15時 30分まで	送迎の実施範囲	概ね片道20分圏内		
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニング：排泄が自然と自立できることを目標とし、資格情報や時間の明示を取り入れたトレーニングをします。 ・手洗い・うがい・歯磨き：登所時や給食前、外出からの施設に戻った際などに手洗い、うがいを支援し習慣化を目指していきます。 ・食事：安全に楽しく食事を摂ることが出来るように食事の場を提供しています。月に5回ほど食育を行っています。 ・生活リズム・健康管理：安定した生活リズムを目指し、1日のスケジュールを可視化し支援を行います。登所時には必ず検温を行い記録を取ります。 ・避難訓練：月に1度、地震・火災・不審者を想定した避難訓練を実施しています。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動：全身を使って遊ぶことが出来る環境を整えています。近隣の公園にも出掛けアスレチックなどを利用して身体を動かします。 ・微細運動：手や指を使った細かく精密な動作をする微細遊びを行います。 ・感覚遊び：様々な材料を用いて「視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚」で楽しむ遊びを行います。 ・音楽リズム：「音楽」に触れ、さくらんぼリズムで運動神経や脳の発達を促します。 ・個別課題・自立課題：障がいの特性や発達段階に応じて、手指先の機能向上を目指し課題を提供します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題・自立課題：必要な情報を収集して認知の発達を促し、数や大きさ、色などの様々な概念の理解を促がします。 ・五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）、前庭覚、固有受容感覚などの感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促がします。 ・遊び・活動（小集団）：意思表示と受容、適切な行動（適応行動）の形成を支援します。 ・移動訓練：就学に向けて、お散歩を通して交通ルールを知らせていきます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・PECS（絵カード）：障害の特性や発達段階に合わせて、PECSなど絵カードのコミュニケーションツールを用いた支援を行います。 ・日常会話：聞いたことがある言葉から、知っている言葉、使える言葉へと進んでいくように、『言葉のシャワー』をたくさん掛けています。言葉だけでなく、身振りや手振りなどのジェスチャーを使って思いを表現し、相手に伝わったという実感を得ることが出来るように支援します。言葉になりきらない思いを大人が受け止めて言語化し、自分の感情と言葉が一致していくように促します。 ・遊び・活動（小集団）：視覚的に理解しやすいように配慮がされた環境の中で、遊びや活動を展開することで目と耳の両方から情報を取り入れて（他者の話を聞く力）理解できるように工夫します。遊びの中では、お友達と協力して作戦やアイデアを考えたりする中で、コミュニケーションを取る楽しさ（自己の気持ちを伝える力）への気づきを促します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・外出活動：地域の公共施設に外出し、集団行動や公共スペースでのマナーやルールを知らせ学んでいきます。また、地域の人など他者への興味や関心を持てるように、大人が介入しながら促します。大人との関わりを通して、信頼関係の構築を図り、人と関わる心地よさを獲得できるよう働きかけます。 ・遊び・活動（小集団）ルールのある遊びや活動を通してルールに従い、チームを組むことで互いを意識し、お友達と協力するおもしろさを体験できるよう支援します。また見立て遊びやごっこ遊び、ひとり遊び、平行遊びや集団遊び、役割分担のある協同遊びや活動などが出来る環境を提供し楽しいと感じることが出来るように、大人が補助をしながら子ども同士の関わりの場面を支援します。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の子育てに関する困りごとや、並行通園先での様子や就学等に向けた相談援助を行います。 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を提供します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学先の小学校関係者を含めた関係者会議等への出席や、当該事業所において就学前スクリーニングテストが必要な場合には、対応しています。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・並行通園する保育園、地域の相談支援事業所との連携や連絡調整を行っています。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が提供する支援の質の確保、職員の質の向上に資することを目的として、法人内部および外部研修に参加しています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用形態が曜日の固定利用と特殊なことから、保育園や幼稚園のような行事形式の開催はしておりません。通常の活動において、節分やクリスマス会、夏の水遊びなど、季節に応じた活動、毎月のお誕生会を取り入れています。 				